

2017年3月期

第2四半期 株主通信

(2016年4月1日～2016年9月30日)

| 証券コード: 9466 |

aid Ma

MARKETING
COMMUNICATION



MD



SALES



BIG DATA



RETAIL



CUSTOMER



ARSS



WEB-SP



PROMOTION

メーカー向け 販促支援分野に進出へ

新スマホアプリ「CASH☆BACK」(仮)、
年度内に公開

当社は、食品メーカーなどに対する販促支援領域に本格進出します。その第一弾として、メーカーと生活者と店頭をつなぐダイレクトマーケティング支援アプリ「CASH☆BACK」(仮)の開発に着手しました。サービス開始は本年度中を予定しております。

顧客ロイヤリティ向上を ワンストップで支援

「CASH☆BACK」(仮)は、指定の商品を購入した消費者に対し、支払額の一部を現金で払い戻すサービスです。購入の証跡として、スマートフォンでレシートを撮影・送信してもらう仕組みで、どの店舗で購入した商品でも払い戻しの対象となります。

幅広いメーカーに対し、流通・小売ルートを問わないプロモーション

ン手段を提供する一方で、顧客ロイヤリティを高め、各商品やブランド、メーカーの広告宣伝に役立つ仕組みも盛り込む方針です。

今回の新事業分野進出は、当社の事業ターゲットを食品・飲料を

はじめとするメーカーにまで拡げようという試みです。長らく食品スーパーなどの販促支援を手掛けてきた当社にとって、「食」は親和性の高い分野。ターゲット拡大は自然な流れと考えています。

多種類の折込広告を、一度に作り分け。 独自の「折込広告自動組版システム」 試験運用へ。

当社は、独自開発中の「折込広告自動組版システム」の試験運用を開始します。地域ごとに内容の違う折込広告を発行しているチェーンストアの、従来人力に頼っていた複雑な広告制作工程を自動化するもので、ドラッグストアのような、掲載商品や価格が店舗ごとに細かく違う広告を発行するクライアントに最適です。

当社は今後、本システムを武器に、オペレーションコストが問われるドラッグストアなどの案件を積極的に開拓してまいります。

本システムでは、掲載する商品名や価格、写真、コピーなどのデータを店舗ごとに整理して一括入力すると、ソフトウェアが全体のレイアウトなどを自動的に行い、それぞれの店舗に合わせた印刷用組版データを一度に出力します。出力後の商品・価格データの差し替えも一括して行えます。



CASH☆BACK
FY2016 START!!

既存事業の拡大とともに、新規事業を新たな収益源に

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2017年3月期第2四半期、クライアントの業容拡大に伴い順調に業績を伸ばすことができました。一方では、食品メーカーなどを対象とした新規事業の立ち上げ準備にも入っています。将来的には事業の第二の柱、新たな収益源へと育て上げる考えですので、皆様には一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 蛸谷 貴



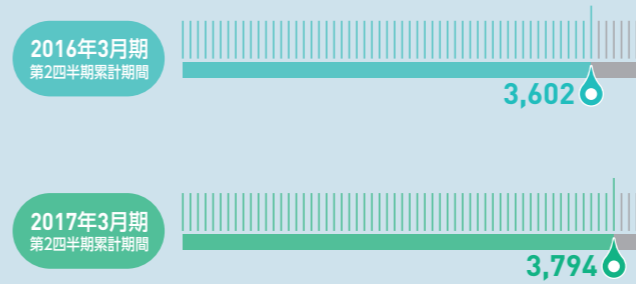
クライアントの出店拡大などで増収増益

当第2四半期における我が国経済は、円高の進行、アジア新興国をはじめとする景気減速懸念などの不安材料も多く、景気の先行きについては不透明な状況となっております。当社の主要ターゲットである流通小売業界でも、スーパーマーケットの既存店販売額は概ね横ばいで推移しました（経済産業省「商業動態統計」より）。

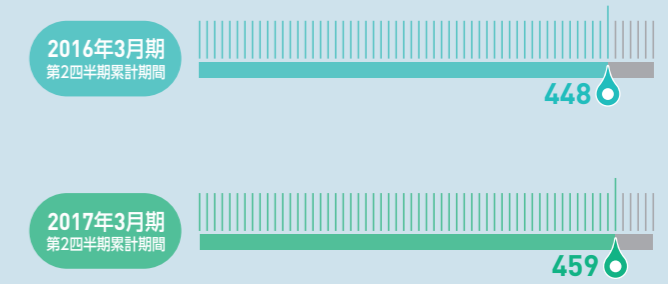
このような中ではありましたが、当社は大手クライアントの出店拡大やプロモーション強化の動きに伴い収益を拡大することができました。当第2四半期累計期間における当社の売上高は37億94百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は4億58百万円（同2.9%増）、経常利益は4億59百万円（同2.3%増）、四半期純利益は3億1百万円（同2.9%増）となりました。

Sales

売上高の推移(百万円)



経常利益の推移(百万円)



また、この四半期には、食品メーカー向け販促支援という新分野進出への準備も加速。メーカーと生活者と店頭とをつなぐ新スマートフォンアプリ「CASH☆BACK」(仮)の開発を進めるとともに、顧客メーカーの獲得にも取り組みました(P1~2参照)。

既存事業についても、5月に開設した福岡支店を中心に、西日本一帯の新規クライアント開拓を進めています。ともに結果が出るまでは時間が掛かりますが、進捗は随時お知らせいたします。

なお、通期の業績予想につきましては、売上高73億52百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益8億22百万円（同9.2%増）、経常利益8億9百万円（同10.0%増）、当期純利益5億26百万円（同7.8%増）と、5月に発表した内容から変更はございません。

1:2の株式分割を実施

当社は10月1日を効力発生日に、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しました。投資単位当たりの金額を引き下げることにより、より一層投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることが目的です。これに伴い、1株当たり期末配当金予想を当初の10円から5円に修正しますが、実質的には変更はありません。

なお、今後の配当につきましては、健全な財務体質の維持と事業拡大に備えた内部留保とのバランスを取りつつ、経営成績と財務状態を勘案し実施していく方針です。

四半期貸借対照表

単位:百万円

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期
流動資産	3,245	3,376
固定資産	745	892
有形固定資産	539	554
無形固定資産	51	64
投資その他の資産	153	273
資産合計	3,990	4,268
流動負債	1,296	1,396
固定負債	128	108
負債合計	1,425	1,504
純資産合計	2,564	2,764
株主資本	2,540	2,741
評価・換算差額等	23	23
負債純資産合計	3,990	4,268

四半期キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	2016年3月期 第2四半期累計期間	2017年3月期 第2四半期累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	327	414
投資活動によるキャッシュ・フロー	△210	△469
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50	△122
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	65	△177
現金及び現金同等物の期首残高	677	2,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	742	1,929

四半期損益計算書

単位:百万円

	2016年3月期 第2四半期累計期間	2017年3月期 第2四半期累計期間
売上高	3,602	3,794
売上原価	2,710	2,833
売上総利益	892	960
販売費及び一般管理費	446	501
営業利益	445	458
営業外収益	3	1
営業外費用	0	0
経常利益	448	459
税引前四半期純利益	448	459
法人税等	155	157
四半期純利益	293	301

会社概要(2016年9月30日現在)

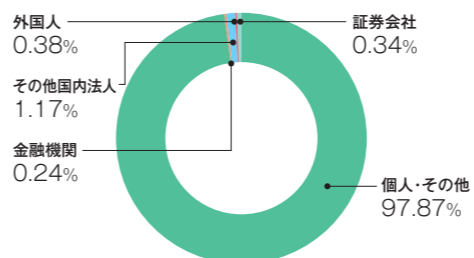
社名	株式会社アйдママーケティングコミュニケーション
本社	富山県富山市豊田町1丁目3番31号
設立年月日	1979年4月5日
代表者	代表取締役 蛭谷 貴
資本金	5億1,368万円
従業員	178名(2016年9月30日現在)
事業内容	販売促進業務を中心とするリテールサポートサービス
拠点	富山本社含む全国17拠点
監査法人	PwCあらた有限責任監査法人

株式情報(2016年9月30日現在)

株式数・株主数

発行可能株式総数	24,240,000株
発行済株式数	6,760,000株
株主数	2,916名

所有者別株主構成



役員一覧(2016年9月30日現在)

代表取締役	蛭谷 貴
専務取締役	桑原 由治
常務取締役	水野 孝治
取締役	中川 強
取締役	今井 俊一
取締役	五十嵐博明
常勤監査役	川田 昭雄
監査役	木村 正明
監査役	林 衛

- (注)1.取締役五十嵐博明氏は、社外取締役であります。
 2.常勤監査役川田昭雄氏、監査役木村正明氏、監査役林衛氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
 3.当社は、取締役五十嵐博明氏、監査役川田昭雄氏、監査役木村正明氏及び監査役林衛氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

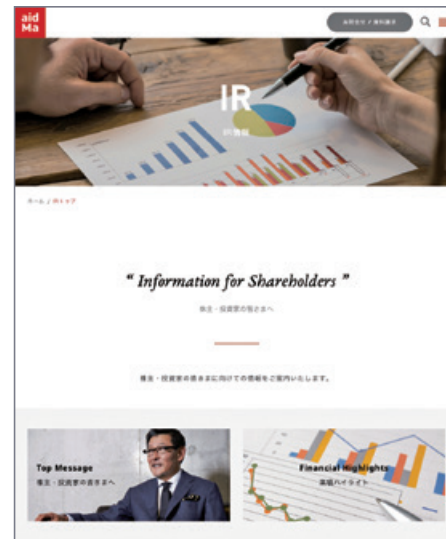
大株主の状況

	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社シュリンプバレー	2,799	41.41
蛭谷 貴	1,838	27.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	311	4.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	298	4.42
野村信託銀行株式会社(投信口)	83	1.23
アйдマ社員持株会	79	1.17
株式会社パローホールディングス	60	0.90
桑原 由治	60	0.89
蛭谷 悦子	38	0.57
水野 孝治	30	0.44
中川 強	30	0.44

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	毎年9月30日、毎年3月31日
1単元の株式数	100株
公告掲載方法	電子公告により行う。 ただし、やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載する方法で行う。 公告掲載URL http://www.e-aidma.co.jp/
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先 お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル)平日9時~17時

IR情報は当社のウェブサイト でもご覧いただけます。

閲覧機器を問わず快適にお使いいただける
「レスポンシブルデザイン」を採用しております。



<http://www.e-aidma.co.jp/ir/>



株式会社アйдママーケティングコミュニケーション

〒931-8313 富山県富山市豊田町1丁目3番31号

TEL:076-439-7880 FAX:076-439-8677